

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	第1回 甲州市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和6年12月6日（金） 午後2時～午後3時
開催場所	甲州市役所 2階第一会議室
議 題	(1) 市民提案型協働のまちづくり令和5年度事業報告会 (2) その他
出席委員	丸山正次委員長、山下宏副委員長、川崎敏朗委員、平塚正彦委員、橋爪孝裕委員、塚田純子委員、吾妻治久委員、中村実委員、小俣多美子委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙議事録のとおり
事務局に係る事項	出席者 市民課3名（土橋課長、早川リーダー、仲川）
そ の 他	

## 第 1 回 協働のまちづくり推進委員会 議事録

日 時：令和 6 年 1 2 月 6 日（金） 午後 2 時～午後 3 時

場 所：甲州市役所 2 階 第一会議室

出席者：丸山委員長、山下副委員長、川崎委員、平塚委員、橋爪委員、  
塚田委員、吾妻委員、中村委員、小俣委員

欠席者：根津委員、三森委員、石田委員、岡委員、榊原委員

### ◆推進委員会

#### 1. 開会

欠席者の報告及び会議の成立の報告

傍聴希望者なしの報告

#### 2. 委員長あいさつ

丸山委員長よりあいさつ

#### 3. 委員自己紹介

委員から自己紹介

土橋市民課長から職員紹介

#### 4. 副委員長の選出

事務局：昨年度は区長会区長会長の雨宮正明委員にお願いをしてございましたが、今年度区長会長が交代されまして、先ほどご挨拶いただきました山下宏委員になられました。これまで本委員会の副委員長につきましては、区長会長にお願いしておりました経緯がございますので残任期間として山下委員にお願いできたらと考えておりますが皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

（異議なし）

事務局：ありがとうございます。それでは副委員長を山下委員にお願いしたいと思います。

#### 5. 議事

##### （1）事業報告

事務局：議長につきましては、条例第 5 条に基づき丸山委員長にお願いいたしますが、ここで昨年度の事業報告を行うため団体に入室していただきますのでしばらく準備をいたします。

(報告団体入室)

議事に入る前にこれからの流れについて事務局よりご説明をいたします。まず始めに昨年度補助金申請のありました団体「松里史跡調査会」からの事業報告を行っていただきます。

資料につきましては、机の上に置かせていただきました、令和5年度甲州市市民提案型協働のまちづくり事業実績報告書です。お手元に事業実績報告書がない方はいらっしゃいますか。

事業報告の流れといたしましては、各団体及び関係課から15分以内の報告を行い、その後10分程度の質疑応答の時間をとりたいと思います。予定時間の1分前に皆様にお知らせします。また、予定時間になりましたら、終了のお知らせをします。

報告会に入る前に、丸山委員長から報告を聞くうえで重視する点や注意する点等を簡単にお話しいただき、事業報告に移っていただきたいと思います。

それでは、議事の進行を丸山委員長お願いします。

丸山委員長：それでは今から事業報告をしていただきます。委員の方々にはぜひ報告の内容の質問あるいは、一番いいのはこれから先の進め方や、活動をさらに広めるための助言を言っていただければと思います。報告の方は本当にお忙しいところありがとうございます。この時期にお呼びするのは本当に恐縮ですが、今年の申し込みがなく時期がずれ、この時期となりました。今日はぜひ皆さんに活動の報告をわかりやすくご説明いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

■松里史跡調査会「地域住民主体の恵林寺山黒法師社の発掘調査と広報活動などによる地域活性化」

○団体からの報告

土屋さん：松里史跡調査会代表の土屋と申します。今日は副代表のオギハラも来ております。報告書に沿った説明をしますが、中身についてはパワーポイントを読みながら説明します。

まず、私たちの団体についてです。松里は歴史がありまだ発掘されてない所が多々ありましたが、それを発掘して後世に残したいという思いにより平成28年に設立した団体です。現在活動として、毎月勉強会、研究会を行っていますが、数としては92回行いました。

私達の団体、松里史跡調査会が以前に行ったことについて、地域の方はすぐわかると思いますが、堰（せき）と言われてる用水の調査を行いました。笛吹川から用水を取り入れるのに取り入れ口は当時どこにあったのかということや、いつ頃出来たのかということ調べて、その成果はこの峡東地区の世界農業遺産登録の一助となりました。世界農業遺産の審査員の方が非常に水の管理ということについて関心がある方でその人の前でプレゼンを行い大変喜んでいただきました。

それでは、黒法師というのはどういうものをもう1回レクチャーさせていただきます。武田家が滅亡した際に恵林寺の山門が織田信長によって焼き討ちにあったんですが、そのときに煙となり恵林寺山に飛び出した、煙になった黒法師天狗というものがおりまして、地元で長い間まつられていたのですが、松里側にある黒法師社が朽ち果ててしまい、その建物の大きさや歴史的な埋没の状態が分からない部分があり調査を行いました。幸い、昨年、この市民協働のまちづくりプロジェクトに採用させていただいて、その一環として、活動を進めてきました。

場所を地図で確認しますとこの辺り（地図を指示し）に恵林寺、松男神社、八坂神社がありま

すが、黒法師は柚木発電所の貯水池の鉄板が通っているすぐそばにあります。標高は650mほど。車で行ける場所は500mほどなので、100m～150mぐらいの標高差を上り降りをして調査を行ったため、結構大変な調査でした。

実施した内容は主に恵林寺山の中腹にあります黒法師社の散乱物の整理や社の構造の集計等です。

また、説明看板の設置も行い、この調査の結果を地元の住民、中学生などに伝えるといった活動も行いました。

実施期間は10月から3月までの半年ほど。研究会は毎月行っており、毎回10人ほどが出席しました。発掘調査は約10日間行いのべ62名が参加しました。講義は松里中学校の1・2年生を対象に行いました。見学会を行った際は42名の方に参加していただきました。

実施結果について、調査前は建物も朽ちており様々なものが散乱している状態でしたが、ボランティアの方も加え大勢の方と一緒に撤去しました。

撤去後、拝殿の礎石が見つかったので、これにより大体建物の大きさが分かるようになりました。本殿のこの場所に拝殿があって、(パワーポイントを使い図の説明)階段を上った場所に本殿があり、その奥に非常に大きな磐座(いわくら)があります。専門家によりますと、これほど大きな磐座があるのは非常に珍しいとのことでした。山梨県の中でも指折りの非常に大きなものとのこと。専門の測量する方に図面を書いていただきましたが、これは拝殿の跡、本殿、それから御神燈となります。御神燈はぐちゃぐちゃに壊れてしまっていたましたが、修復を行いました。続いて瓦ですが瓦には武田家の家紋、花菱の家紋が数多くありました。これは瓦部分の図ですが、全部武田の家紋がついており、散乱していたため一つにまとめて整理しました。

社から発見された古銭について至道元宝(しどうがんぼう)という名前の古銭であり、宋から伝わってきているもので995年に初めて鑄造された宋銭です。これは帝京大学の文化財研究所の方に調べてもらいました。

その他には江戸時代の寛永通宝(かんえいつうほう)や鉄でできている小銭もありました。これは調べたところ飯田銭という甲府の飯田で江戸時代に作っていたらしい鉄の銭で、これが腐食したものが出てきました。

このような調査結果をまとめ現地に看板を設置しました。

また、砕けていた御神燈についてはぐしゃぐしゃになっておりましたが、周りに鉄骨で補強して再現をいたしました。

恵林寺住職が記した掛け軸とのぼりについて。掛け軸は審査会の時にも紹介しましたが、江戸末期から明治初期に恵林寺の住職であった円応住職という方がかいたものです。「黒法師大名霊」と書かれているこちらののぼり旗は大きいもので4m～6m、畳一畳ほどあります。

こちらは「黒法師智羅坊大明霊神」、恵林寺の会元住職がかいたものです。これは藤木地区の組で保管してお祭りのときはのぼり旗をあげてお祭りをしたとのこと。

これらの成果をパンフレットとして作成し1500部ほどを各組に配布しました。また、非常にありがたいことですが、山日新聞が取り上げてくださり「松里の「天狗伝説」後世へ」ということで、私たちの思いがきちんと届き記されることになりました。大変ありがたく思っています。これらの成果を3月12日、松里中学校で子供たちの前で伝えさせていただきました。その時に驚いたことがありまして、松里中学校は恵林寺山の麓にあるのですが、恵林寺山に登っ

たことがないとのことで「どこからどうやって登るんですか」という質問もありました。昔は恵林寺の中腹にみずかめ公園というものがあり、私たちが子供の時はよく遊んだりしましたが、今はそういったものが無くなって子供たちも山に登らなくなってしまったとのことで、これで良いのかと思うこともありました。松里中学校の生徒さんは非常に元気に質問をしてくれて私達にとっても楽しい時間となりました。3月30日には、小雪が降っている中、地区の皆様にお話しをさせてもらいました。玉宮地区の方も非常に関心を持ってくれました。

収支決算は提出した資料に記載させていただいた通りです。内訳はそれぞれ、需用費はパンフレットの印刷代など。委託費は看板の設置や社跡の測量の委託。工事請負は御神燈の修復代となります。

終わりになりますが、地域の歴史を紐解いて、その歴史文化を後世伝えることは非常に大事なことだと思っております。現在、地域力、地域が色々なことをやっていこうという活力や勢いが減少している中で、今回の事業が地域住民を巻き込んだ事業としてその活力アップに少しは貢献できたとしたら非常に大きな喜びであると思っております。ご支援いただいた皆様、文化財課はじめとする市の関係課の方々に感謝しています。黒法師社につきましては古文書も非常に少なく、推定することが非常に多いのですが、今後も継続して調査研究を進めていく必要があるため、松里史跡調査会はこれからも活動をしていきたいと思っております。ご支援とご協力をお願いします。

#### ○質疑応答

丸山委員長：土屋先生ありがとうございました。それでは今の報告を踏まえ、質問や助言等ありましたらお願いします。

小侯委員：勝沼フットパスの会の小侯と申します。フットパスの会では毎年1回ガイドツアーを行っており、明後日も勝沼ぶどう郷駅周辺のガイドツアーを企画して半日コースで歩く予定になっています。

今回調査した事業を今後につなげるために、中学生に向けガイドツアーを毎年開催するなど若い方たちを巻き込んでいくような考えがありますか。発掘したものをどのように保管するのか、団体のメンバー14名の人数を存続または増やしていくためにはどうするのか、何かプランがありましたら教えていただきたいと思っております。

土屋さん：非常に大事な質問だと思います。本来、黒法師社を管理している地域は古来から決まっています。ところが、地域の方のほとんどが年をとっており、なかなか管理や調査が難しいということで、私たちもお手伝いということでこれらの事業を行ってききましたが、今後ガイドツアーみたいところでぜひ取り入れていきたいと思っております。

ただ黒法師社周辺には、獣を入れないための防護柵があり、鍵が必要になるため簡単には入ることができません。そのため出入りができ見学なども行えるように地域の住民の人たちで話し合い工夫して行おうという動きがでてくれば良いと思っております。ガイドツアーの形で人を集めるということについては、今後検討していきたいと思っております。

私たちのメンバーは14名ぐらいおりますが、歴史に関して非常に関心のある人達です。そのような人たちを今後どうやって増やしていくかという件について、パンフレット等を配り歴史の色々な研究を行っていることをPRはしていますが、普通の人から見ると、敷居はちょっと高いと感じています。私たちの中に古文書を現代風に変換ができる方がいますが、その方に頼んで普段は古文書を読んでいるんですが、それだけだとなかなか感心を持ってもらえません。た

だ、古文書を見ると面白くて、昔の百姓さんたちがいろんな騒動を起こして、甲府の役所に申し出たとか、そういう揉め事の話が数多くあって昔の人は随分エネルギッシュな人も多かったということがわかりますし、そのような勉強をすることは面白いんですけど、こういったものに対して非常に興味を持ってくれる方はなかなか難しいとは思っております。いずれにしても10数名でやっていますが今後も活動を続けていきたいと思っております。

もう一つ発掘したものはどういうふうに保管しているのかということについて、これはもともと、約束事で発掘したものについては、本当は市の文化財課に預かってもらいたいんですけど、市の文化財課では置いておくところがないということで。これが問題なんですけど、一応屋敷地区の区長さんをお願いして、どんど焼きの太鼓がおいてある場所に一緒においてもらおうと思っております。

橋爪委員：この地区に住んでおり、この図面にもある八坂神社の総代をしています。黒法師という言葉はいろんなことに使われ、集まりでも「黒法師さんの集まりだよ」という話がありますが、今回の調査されてる内容を私より上の方はご存知の方も多いかと思うんですが、私よりも下の方は、地元でも多分認識はないと思います。子供の頃山に登ってましたが、ここにあったということも知らなくて、最初にお話いただいたとおり貴重な遺跡なものだということであれば、ぜひ地元、少なくとも地元には認識を持つように私も含めて、またご尽力いただければありがたいと思います。そこに住んでる私としても何らかできることは協力させていただければなと思います。一つ聞きたいのは、私が今総代をしている八坂神社や松尾神社の関係性は何かありますか。

土屋さん：そこが面白い部分でメンバーの中にも、色々なことを推定しているメンバーもいます。(図面を指示して)一番初めの図面、八坂神社と黒法師がありますが、この一線上に恵林寺があります。この動線、一線上に存在することから、何か関係があるのではないかという話もあります。八坂神社と黒法師の関係がどのような関係かということにはわかりません。

八坂神社はお祀りしているのは五穀豊穰の神ということと京都からの関係でこの地へ持ってきたというお話しから、その辺の関係について色々想像する人がいるので、そういった人も含め現在報告書を現在作ってる最中です。またもしご関心がありましたら、報告書をお渡ししたいと思います。

丸山委員長：他に何か質問がありますか。では、質問をさせていただきたいのですが、生涯学習課の方で、これにいた案件は、何件かあるんでしょうか。

文化財担当入江さん：今回のような松里史跡調査会のような活動に伴う発掘調査があるかという意味合いでよろしいでしょうか。

現在、市内の中ではこの松里史跡調査会からの調査のみです。他は基本的には開発に伴う調査への対応となっています。一つだけ言わせていただきたいことがありまして、先ほど出土物の取り扱いにお話しがあったと思うのですが、確かに市内に異物をしまっておく場所が市の方でも限られてるという現状があるにそういった現状がありますが、そう言ってしまうと身も蓋もないので一点補足させていただきます。通常の開発できた出土物につきましてそこは既に道路や工場、店舗になってしまう関係で保管しておく場所がないので基本的に市の方で他の保管させていただいているという状況にあります。

今回の黒法師社で出てきた出土物につきましては、基本的には地域の文化財は地域で守っていただきたいという私達の思いもありますので、でてきたものに関しても保管をさせていただいて活用にもぜひ使っていただければと思います。

丸山委員長：ありがとうございました。それでは松里史跡調査会の皆さんありがとうございます。ぜひいろんな形で活躍いただければと思います。

## (2) その他

丸山委員長：今から審議に移ります。その他ということで事務局から令和5年度協働事業調査実施調査結果について話しがでています。

事務局：事務局から令和5年度協働事業実施調査結果についてです。

1点目、皆様の机の上に置かせていただきました令和5年度協働事業実施調査という資料をご覧ください。こちらは、令和4度より行われております、甲州市の庁内各課への調査の結果です。市民団体等との協働事業について、一覧表にさせていただきました。3年度は50件、4年度は92件、5年度は106件の協働実績と年々増加しております。こちらの調査結果については、本委員会終了後、市ホームページに掲載し、市民へ公表いたします。委員の皆様におかれましても、ご確認をよろしくお願いいたします。

2点目、今後の協働のまちづくり補助事業について。今年度の事業募集について報告いたします。事業募集につきましては、9月30日までとなっておりますが、申請はありませんでした。相談件数は4件でした。

このことについて、また来年の補助金制度の内容について意見がありましたら、よろしくお願いいたします。

以上です。

丸山委員長：ありがとうございます。事務局から2点別の事柄なので分けてご意見を受けたいと思います。まず5年度の協働事業実施調査結果について何かご意見ご質問等ございますか。

私から質問ですが、結果の資料では事業の概要を書いておりますが、実際にどのぐらいの数であり、頻度は1回だけのものかどれくらいあるのかということは、どこかを見ればわかるもののでしょうか。各担当ごとの事業では概要のみの記載となっております。

事務局：各課へ協働でやっている事業はありますかということで相手先分類や事業形態などに該当するものを全て洗い出して出しているものなので、この事業概要にある内容をどこかのホームページの中で確認できるかといったら担当課の力の報告への力の入れようによるので、ホームページ等で確認ができるものもあれば、というところとなります。

丸山委員長：この形で調査を行うということになりまだ始まったばかりですが、今後こういう協働事業はどのようなことをしているのかを知るという点では、この部分がわかるようにする必要があると思います。

事務局：承知いたしました。例えばこの様式の中に例えば今度リンクを貼るように入れてもらうなど、そういうことは可能だと思いますので今後検討していければと思っています。ありがとうございます。

丸山委員長：他にご意見ご質問ありますか。

(質問なし)

丸山委員長：ここに参加される方で関わっている方もいると思いますので、今後活動を広げる際の参考に見ていただければと思います。

続けて今後のまちづくり補助事業について。昨年度も同じような意見聴取を行いました。来年度に向けてこんなことは考えられないとか、またご意見を伺おうということで、事務局の方からありましたので何かあればいかがでしょうか。

吾妻委員：今後のやり方ということで、最近一番関心を持ったのは、山日新聞の地域版に書かれている記事についてです。そこではまちおこしをはじめ色々と掲載されていますが、甲州市で行っている活動などについて全然出てこない。地域も市役所もだめで活気が無いと感じます。そういう基盤になるための募集だけでなく、担当課が掘り起こすことを失敗してもいいので行うのも良いと思います。高校生と一緒に町のスィートを作るなど色々と活動している所もありますが、そういった活動でも良いと思います。記事を見て全体的に山梨の中でどういう動きをしているのか。北杜市や都留の方は外部の人、移住者が入ってきていますがそのような人たちが入って活動できるように上手くやるといいと思います。甲州市も神金地区に東京の人はリターンして入っており、そのような人たちは知識をはじめ様々なものを持っています。そういうものと一緒に組み合わせるために、市が何か掘り起こす試みを行っていったらいいと思います。

丸山委員長：ありがとうございます。どちらかというとも市から呼びかける、あるいは仕掛けるということもあっていいというご意見だと思います。吾妻委員がおっしゃったように、塩山、旧塩山の奥の方に結構アート村等色々なものが作られており、そういう場に働きかける、また、元々外から人が入ってきている勝沼で新たなマルシェなどを行うなど、吾妻委員がおっしゃった市の方から働きかけることも良いのではという意見です。他にはいかがでしょうか。

塚田委員：この協働事業を見ると、社協や商工会、区など昔からある市民の団体といった半分お役所仕事のなそういう固いイメージの昔からのやり方でやっているような団体との協働が大半であると感じます。NPOとか新しい市民団体や若い人たちが市と何か行おうというムーブメントになってきていないというふうに感じます。

実際何かをしたいという方たちはいると思います。甲州市に来たら面白い事業などができると思える仕掛けを作りこのような方達に甲州市にきていただく。そういう人たちと一緒に地元の人たちも活動ができるようかき乱していくのがこの市民協働になると思っています。そのような仕掛けがもっと欲しいと思います。協働のまちづくりの最初の基本計画、以前の委員長が計画を立てられたときは、民主党政権になったときで「新しい協働」という話題がでて市でも協働がスタートしましたが、その時と今では状況も変わってきているので、この時代に合わせた見直しも必要だと思います。また、最初期には市内に在籍するNPO団体が一堂に集まり、市にある団体について新たな発見もありました。NPOに登録していなくても市民活動をやりたい人が集まって交流する、お互いに知り合っ一緒に何かを行うという仕掛けもあり、そういう団体と元々ある区とか地元の繋がりを繋ぐことで若い人たちをバックアップしていく。そのような動きが出てくれたら嬉しいと思っています。

丸山委員長：ありがとうございます。NPO系の団体との繋がりは今どうなってますか。今も繋がりがやすくなってるのかそれとも繋がらなくなっていますか。

塚田委員：市内にうちの団体（すてっぷ・あつぷる）以外にNPO団体はありますか。県の単位でみて、県としても子育てや虐待の問題など、いろんなことで支援団体が集まっているという手はありますが、一応県でもそういうのがポータルサイトを作って色々と言っているのですが、なかなか進まないのので県全体のNPOの横のつながりからは百人互助会でも作って、県はあてにしないでやろうという感じとなっております。

丸山委員長：ありがとうございます。結局どこが誰を呼びかけるのかということになると思いますが、塚田委員がおっしゃってるように伝統的な地区の組織はこの甲州地域は強くしっか



りできているので、そこはいままでどおり様々なことをやる方が活動しやすいと思います。そこからなかなか地区へ入れない、その課題にはならないものをここでは期待して作られたということだと思いますが、なかなか一つの形にならないということが、今の状態だと思います。

この点で働きかけ方の工夫や方法について何かありましたらお願いします。

吾妻委員：儲かること、お金になることだったら活動など動きだしてくると思います。現在は、何かやろうと思っても人がいませんが、年寄りの方がよく町を歩いているのをみかけるので、そのような人達は何かあれば様々なことをやりだすのではないかと思います。民泊が今流行っていますが、あれは空き家を民泊にするグループが活動しており、それはお金になるので市がこのような事例から案件をメニュー化してまとめて地域にばらまいてほしいと思っています。塩山の街の中は、人が居ないので何かをやるにしても人が集まりません。最近ではコロナの後から、活動含め様々なことが縮小して今までやってた過去のものもなくなってしまっています。市を元気するには何かやらないといけないと思います。それにはやはり各課が事業など協働に関して提案をしていくのが良いのではないのでしょうか。

今は様々な方法でお金が集まりますが、いい活動だったら人もお金も集まってくるので様々な発想を各課に提案してもらい、協働できるという人が実際にどのくらいでくるのか実践してみたら面白いのではないかと思います。

山下委員：令和5年度協働事業実施調査を見ると区長会や商工会、民生委員など既存の組織が関わっているようなものはもう十分網羅されています。市の各事業課とその関係団体、社会福祉協議会も同様です。これらの組織との昔からもあるパターンの事業はほぼ網羅されており、区で行っている様々な事業も、コロナ禍以降、後継者がおらず、人が集まらないことで、事業の実施の進め方も非常に苦しんでおり、どの地区でも課題となっています。私も初めてこの会議に出ましたが、調査へ挙げられている事業は大体私も関わっています。塩山太鼓やお祭り、赤松を守る会など関わってきましたが、改めて市民提案型の事業に何か新しい発想があればと思います。この資料（補助金制度パンフレット）も4月の区長会の総会で事務局が配布していますが、実際には各課から膨大な説明があり、この事業の細かいことを各区長さん方にお伝えする時間はなく、この資料を配るだけとなっている。お話を聞いて、具体的に何を提案するのか、私の地区で提案ができるようなものがあるのかということを考えてみましたが、既存の型にはまった発想では思いつきませんでした。既存組織（区など）の方たちに発想を求めるのは限界があると思うので、何か事例集や他の地区の事例を地域にだして、見えてない課題やものを掘り起こす、そういう発想が新しいものをだすために必要だと思います。

丸山委員長：ありがとうございます。広報のやり方を含めてもう少し違うチャンネルの開拓ができないのかという意見が正直あるので、事業の細かい部分かもしれませんが、そういうところでの提言がかなり多かったのではと思います。他にはいかがでしょうか。

塚田委員：区といった組織とのタイアップだとどうしても、地域の保全や発掘、修理などそういう事業になっている。それもまた大事なことですが、今までの事業の事例として提示する際にこれらの事業だけが並んでしまうと、それ以外の発想が出てこなくなると思います。最近だと珍しい取り組みで環境会議の開催とか吉本との事業などぼつぼつ面白いものはあるものの、数年に一度ぐらいとなっている。また、お祭りや神輿の修理などは文化財かどこまでが宗教行事になるのかという部分も曖昧であり、審査をする委員も迷ってしまいます。これに加え補助金の使い勝手、例えば金額の面や十分の八助成で二割は自己負担という現状の制度の使い勝手が需要とマッチングしてるのか、手続きの面を含め過去に使った団体から意見を聞くこともいいと思います。今年度の相談はあったが申請に至らなかった理由等見直しするのが良いと

思います。

丸山委員長：ありがとうございました。今、阻害要因みたいなものを洗い出していくと新しい方向性も見えるのではないかという意見がありました。

吾妻委員：補助金額について二十万のお金では何かやるのに中途半端であるので、「甲州市がこういうことをしたら面白くなる」という企画書を作るのに20万を出したら良いアイデアがでると思います。それをどう発展させるかという点もありますが、市民から良いまちづくりの案を出してもらい、それを審査して応募すれば金を出すという取り組みにする。物を作る、何かを事業として行うということではなく企画案を集める。クラウドファンディング等で金を集めてどのような活動をすれば人が集まるのかという企画案を作らせる試みを出す試みもいいと思います。

丸山委員長：実行することではなくてまず企画案を集めてそれから実施するという考え方ですが、それも一つの考えではあります。

今日はご意見を聴取しようということなので、今日ここでは決めませんが。いくつかご提言をいただいた後で、事務局の方でそれを通して、翌年度以降のところ反映するものは反映していくという形になっていくと思います。

それでは、事務局からは二つ出ましたが、委員の方から何かこの議題に取り上げて欲しいという議案はありますか。

(意見等なし)

それではないようですので、議事を終了したいと思います。議事の進行にご協力ありがとうございました。

## 6. 閉会